

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月31日

上場会社名 株式会社 ジェイテック 上場取引所 東 名

コード番号 2479 URL https://www.j-tec-cor.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名)谷口 恵大 TEL 03-6228-6463

半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無:無 決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高	-	営業利益		経常利益	<u> </u>	親会社株主に帰 中間純利	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1, 626	Δ1.3	61	△37.5	37	△62.3	23	△63.1
2025年3月期中間期	1, 647	1.4	98	50. 2	98	51.4	63	91. 4

 (注) 包括利益
 2026年3月期中間期
 23百万円 (△64.5%)
 2025年3月期中間期
 65百万円 (83.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円銭
2026年3月期中間期	2. 91	-
2025年3月期中間期	7. 91	-

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	2, 036	1, 362	66. 9	170. 12
2025年3月期	2, 217	1, 418	64. 0	177. 22

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 1,362百万円 2025年3月期 1,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
2025年3月期	_	0.00	_	10.00	10.00		
2026年3月期	_	0. 00					
2026年3月期(予想)			_	_	_		

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株3		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4, 000	17. 9	400	21.5	400	21. 2	240	5. 2	29. 97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:無新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	8, 572, 400株	2025年3月期	8, 572, 400株
2026年3月期中間期	565, 700株	2025年3月期	565, 700株
2026年3月期中間期	8, 006, 700株	2025年3月期中間期	7, 990, 175株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	当中間期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(1	1)経営成績に関する説明	2
(2	2) 財政状態に関する説明	3
(3	3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
	中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1	1)中間連結貸借対照表	4
(2	2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
	中間連結損益計算書	5
	中間連結包括利益計算書	6
(3	3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4	4)中間連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(ヤグメント情報等の注記)	۶

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済環境は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れや、米国の通商政策等のインパクト、地政学リスクの長期化、各国の政治・金融市場の変動等、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、テクノロジスト(高度な技術と人間性の両面を兼ね備えた技術者に対する当社グループでの呼称)の派遣単価及び稼働率は高水準を維持したものの、技術系人材の獲得競争は依然熾烈で特に子会社の人材不足を早期に埋め切れず、また請負受託案件の一時的滑落からの回復見込みが若干遅れ、トップラインはほぼ横這いで伸び悩み、連結売上高は前年同期比で微減となりました。

費用面については、全社一丸となってコスト削減に努め、販売費及び一般管理費は前年同期比及び前四半期比とも 圧縮できたものの、第1四半期に臨時発生した市場区分変更に係る費用の影響が今期全体に亘って残存することか ら、連結ベースでの各段階の利益は前年同期比で減益となりましたが、当社グループの事業の特徴としまして、売上 及び利益計上が下半期に偏重する傾向にあります。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高1,626,346千円(前年同期比1.3%減)、営業利益61,739千円 (同37.5%減)、経常利益37,314千円(同62.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益23,314千円(同63.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 技術職知財リース事業

当中間連結会計期間は、主に当社グループの派遣契約単価は好調に推移しておりますが、受託案件の減少により 売上高は1,626,346千円(前年同期比1.3%減)、セグメント利益は304,508千円(同0.5%減)となりました。

② 一般派遣及びエンジニア派遣事業 前期より全業務を休止しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産合計は2,036,284千円となり、前連結会計年度末より181,597千円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少92,241千円、売掛金の減少82,417千円によるものであります。

負債合計は674,212千円となり、前連結会計年度末より124,713千円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少62,903千円、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の減少35,058千円によるものであります。

純資産合計は1,362,072千円となり、前連結会計年度末より56,883千円の減少となりました。これは主に、親会 社株主に帰属する中間純利益の計上23,314千円があったものの、配当による利益剰余金の減少80,067千円によるも のであります。

この結果、自己資本比率は66.9%と前連結会計年度末の64.0%に比べ2.9ポイント上昇いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ92,241千円減少(前年同期は2,421千円の増加)し、1,407,832千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は27,658千円(前年同期は74,446千円の収入)となりました。これは主に、法人税等の支払額77,432千円等により資金の減少があったものの、税金等調整前中間純利益37,314千円及び売上債権の減少88,397千円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は5,200千円(前年同期は2,271千円の収入)となりました。これは、敷金及び保証金の回収による収入101千円により資金の増加があったものの、投資有価証券の取得による支出2,263千円及び敷金及び保証金の差入による支出3,038千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は114,700千円(前年同期は74,296千円の支出)となりました。これは、長期借入金の返済による支出35,058千円及び配当金の支払額79,642千円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	(単位:十円) 当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 500, 073	1, 407, 832
売掛金	476, 122	393, 70
契約資産	35, 371	29, 390
前払費用	54, 480	48, 28
その他	5, 294	7, 39
流動資産合計	2, 071, 342	1, 886, 61
固定資産		
有形固定資産	34, 155	32, 18
無形固定資産	970	85
投資その他の資産		
投資有価証券	5, 031	7, 76
関係会社株式	0	(
敷金及び保証金	31, 954	32, 80
繰延税金資産	74, 427	76, 06
投資その他の資産合計	111, 413	116, 63
固定資産合計	146, 539	149, 67
資産合計	2, 217, 882	2, 036, 28
負債の部		
流動負債		
1 年内返済予定の長期借入金	62, 962	38, 73
未払金	93, 893	70, 83
未払費用	49, 371	48, 11
未払法人税等	83, 366	20, 46
未払消費税等	61, 451	40, 82
預り金	16, 301	18, 26
賞与引当金	167, 691	179, 48
その他	98	3
流動負債合計	535, 136	416, 75
固定負債		
長期借入金	19, 895	9, 06
退職給付に係る負債	243, 895	248, 38
固定負債合計	263, 790	257, 45
負債合計	798, 926	674, 21
純資産の部		,
株主資本		
資本金	261, 834	261, 83
資本剰余金	255, 905	255, 90
利益剰余金	970, 128	913, 37
自己株式	△86, 189	△86, 18
株主資本合計	1, 401, 679	1, 344, 92
その他の包括利益累計額		· · ·
その他有価証券評価差額金	3, 058	3, 55
退職給付に係る調整累計額	14, 218	13, 58
その他の包括利益累計額合計	17, 276	17, 14
純資産合計	1, 418, 955	1, 362, 072
負債純資産合計	2, 217, 882	2, 036, 284

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

		(十三:114)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1, 647, 547	1, 626, 346
売上原価	1, 093, 579	1, 137, 173
売上総利益	553, 967	489, 173
販売費及び一般管理費	455, 121	427, 434
営業利益	98, 846	61, 739
営業外収益		
受取利息	Ī	18
受取配当金	121	148
投資有価証券売却益	172	176
その他	176	401
営業外収益合計	473	745
営業外費用		
支払利息	364	169
市場変更関連費用	<u> </u>	25, 000
営業外費用合計	364	25, 169
経常利益	98, 955	37, 314
税金等調整前中間純利益	98, 955	37, 314
法人税、住民税及び事業税	44, 710	15, 925
法人税等調整額	△8, 931	△1,926
法人税等合計	35, 778	13, 999
中間純利益	63, 177	23, 314
非支配株主に帰属する中間純利益	-	_
親会社株主に帰属する中間純利益	63, 177	23, 314

(中間連結包括利益計算書)

		(七位・111)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	63, 177	23, 314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	$\triangle 426$	498
退職給付に係る調整額	2, 609	△629
その他の包括利益合計	2, 183	△131
中間包括利益	65, 360	23, 183
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	65, 360	23, 183
非支配株主に係る中間包括利益	_	_

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	98, 955	37, 314
減価償却費	2, 540	2, 087
受取利息及び受取配当金	△123	△167
支払利息	364	169
投資有価証券売却損益(△は益)	$\triangle 172$	△176
賞与引当金の増減額(△は減少)	13, 212	11, 791
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7, 008	3, 864
売上債権の増減額(△は増加)	18, 932	88, 397
未払金の増減額(△は減少)	△56, 207	$\triangle 23,481$
未払費用の増減額(△は減少)	6, 732	$\triangle 1,259$
未収消費税等の増減額 (△は増加)	3, 760	_
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10, 442	△20, 630
預り金の増減額(△は減少)	3, 285	1, 966
その他	11, 415	5, 202
小計	99, 262	105, 080
利息及び配当金の受取額	123	167
利息の支払額	△336	△156
法人税等の支払額	$\triangle 49,762$	△77, 432
法人税等の還付額	25, 158	<u> </u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	74, 446	27, 658
投資活動によるキャッシュ・フロー		,
有形固定資産の取得による支出	△173	_
投資有価証券の取得による支出		$\triangle 2,263$
投資有価証券の売却による収入	175	
敷金及び保証金の差入による支出	△756	△3,038
敷金及び保証金の回収による収入	3, 025	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	2, 271	△5, 200
財務活動によるキャッシュ・フロー		,
長期借入金の返済による支出	$\triangle 40,056$	△35, 058
配当金の支払額	\triangle 39, 574	\triangle 79, 642
自己株式の処分による収入	5, 334	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74, 296	△114, 700
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2, 421	△92, 241
現金及び現金同等物の期首残高	1, 359, 460	1, 500, 073
現金及び現金同等物の中間期末残高	1, 361, 882	1, 407, 832
元亚区 0 元亚巴 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	1, 301, 882	1, 407, 832

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セグメント			中間連結
	技術職知財リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計	調整額 (注) 2	損益計算書 計上額 (注) 1
売上高					
外部顧客への売上高	1, 647, 547	_	1, 647, 547	_	1, 647, 547
セグメント間の内部売上高又は 振替高	_	_	_	_	_
計	1, 647, 547	_	1, 647, 547	_	1, 647, 547
セグメント利益	305, 892	_	305, 892	△207, 045	98, 846

- (注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 2. セグメント利益の調整額 (\triangle 207,045千円) の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント				中間連結
	技術職知財リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計	調整額 (注) 2	損益計算書 計上額 (注) 1
売上高					
外部顧客への売上高	1, 626, 346	_	1, 626, 346	_	1, 626, 346
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	_	I	_	_
計	1, 626, 346	_	1, 626, 346	_	1, 626, 346
セグメント利益	304, 508	_	304, 508	△242, 769	61, 739

- (注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 2. セグメント利益の調整額 (\triangle 242,769千円) の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。